

佛教學七三十一

第 43 号

-
- 世間現量と清浄現量 長 崎 法 潤… 1
ネパール写本
 対照による『唯識三十頌』の原典考、並びに『唯識
 二十論』第一偈第二偈の原本について 舟 橋 尚 哉…15
 ——Lévi 本の原本を求めて——
- 説一切有部の修行体系における信 兵 藤 一 夫…31
 ——随信行・信勝解を手掛りにして——
- * * * * *
- 『往生要集』の別相観 福 原 隆 善…47
 ——『観仏三昧海経』の影響をめぐって——
- 研 究 ノ ー ト
- 中國撰述佛典と大藏経 木 村 宣 彰…64
- 書 評・紹 介
- Masamichi ICHIGO (ed. and trans.): *Madhyamakālaṃkāra
 of Śāntarakṣita: With his own commentary or
 Vṛtti and with the subcommentary or Pañjikā
 of Kamalaśīla* David JACKSON… 1
- * * * * *
- 唯識思想体系における自我意識について 服 部 正 明…79
 野沢静証先生を追悼して 小 川 一 乗…92
 学 会 彙 報 93
-

1986年5月

大谷大學佛教學會

佛 教 学 セ ミ ナ ー

第 41 号

- 日本天台への道 白 土 わ か
ゲルク派小史 (上) ツルティム・ケサン
小 谷 信 千 代
色法の主観的認識 浪 花 宣 明
——“ruppati” の解釈をめぐる——
求道の旗手について 山 口 恵 照
——ウパニシャッド対話篇から——
《研究ノート》
チベット仏教研究の昨今 小 川 一 乗
《書評・紹介》
森祖道著：パーリ仏教註釈文献の研究 吉 元 信 行
——アッタカターの上座部的様相——
Stefan Anacker: *Seven Works of*
Vasubandhu..... 兵 藤 一 夫
——The Buddhist Psychological Doctor——
★★★
毘盧遮那仏の説法 氏 家 覚 勝
¥1000 〒 50

佛 教 学 セ ミ ナ ー

第 42 号

- 勝鬘經宝窟における仏性義 三 桐 慈 海
維摩詰經と毘摩羅詰經 木 村 宣 彰
ゲルク派小史 (下) ツルティム・ケサン
小 谷 信 千 代
『三彌底部論』の研究 加 治 洋 一
——我に関する章—— 〈上〉
《研究ノート》
応用仏教学への一志向 吉 元 信 行
《書評・紹介》
吉津宜英著：華嚴禪の思想史的研究 一 色 順 心
《海外学界ニュース》
ウィスコンシン大学における
浄土教ジョイント・セミナー参加報告 宮 下 晴 輝
★★★
初期仏教研究の回顧 櫻 部 建
¥ 1000 〒 50

パーリ語文法 専任講師 吉元 信行
チベット語

チベット語文法Ⅰチベット語古典文法

専任講師 白館 戒雲

チベット語文法Ⅱ 現代チベット語の

文法および会話

専任講師 白館 戒雲

ヒンディー語

ヒンディー語文法 ヒンディー語とその

の文化的背景 講師 肥塚美和子

編集後記

「仏教学セミナー」第四三号をおとど
けします。

御多忙のところ本号に玉稿をおよせ
いただいた諸先生方に御礼申し上げます。

「唯識思想体系における自我意識につ
いて」と題する服部正明先生の玉稿は、
昨年十二月三日、大谷大学仏教学会主催
の講演会においてお話しいただいた御講
演の筆録であります。先生がヨーロッパ
の大学に御出講になる直前に、お忙しい
ところ加筆していただきました。先生に
深く感謝の意を表します。

福原隆善先生には、昭和五九、六〇年
度の二ヶ年、本学に日本仏教の講義に御
出講いただきましたが、その機会に御無
理にお願いして、本号に玉稿をいただく
ことができました。

書評には、一郷正道先生の大著『中観
莊嚴論の研究——シャーンタラクシタの
思想——』をとりあげさせていただきました、
David Jackson 先生に書評をお願いし
ました。

悲しいニュースですが、野沢静証先生
が去る一月一日にお亡くなりになりました。
先生の御逝去は、大谷大学仏教学会
にとりまして深い悲しみであります。小
川一乗教授に仏教学会を代表して追悼文
を書いていただき、本号に掲載しました。
編集子は、大谷大学の学生のころ、野沢
先生の講義を受講したことがあります。
厳格な先生の学問に啓発されるどころ大
でありました。ここに、謹んで哀悼の意
を表します。

今号より編集委員として、吉元信行、
一色順心両専任講師とともに、本誌の編
集を担当することになりました。「仏教

学セミナー」誌の伝統をまもりながら、
新たな発展のために微力ながら努力する
つもりであります。会員、読者諸氏から
のあたたかい御指導をお願いする次第で
あります。

本誌の創刊当初、仏教学研究室の一員
として「仏教学セミナー」の編集にたず
さわった経験があります。学術誌と啓蒙
誌との両面をそなえた本誌の編集方針の
もとで、諸先生方から御指導をいただき
ながら、一号一号の編集に全力を注いだ
ころのことが懐しく思い出されます。本
誌の基本的な編集方針については、一貫
して受継がれていることは言うまでもあ
りません。しかし、創刊より四三号を数
え、二十一年間の歳月をくぐりぬけてき
ています。その間、日本の社会状況は変
り、仏教研究についても大きな進展があ
りました。二十一年間にわたる本誌の歩
みを確かめながら、充実した内容の編集
のために尽くすつもりであります。本誌
に対する御意見、御批判をおよせ下さい
ますようお願い申し上げます。(長崎)

執筆 者 紹 介

長 崎 法 潤

大谷大学教授・文博
※リポジトリ非公開

舟 橋 尚 哉

大谷大学助教授
※リポジトリ非公開

兵 藤 一 夫

大谷大学講師
※リポジトリ非公開

福 原 隆 善

仏教大学助教授・前大谷大学講師
※リポジトリ非公開

木 村 宣 彰

大谷大学専任講師
※リポジトリ非公開

服 部 正 明

京都大学教授 Ph. D.
※リポジトリ非公開

小 川 一 乘

大谷大学教授・文博
※リポジトリ非公開

David Jackson

大阪大学講師 Ph. D., University of Washington
※リポジトリ非公開

佛 教 学 セ ミ ナ ー

第43号

昭和 61 年 5 月 20 日 印刷
昭和 61 年 5 月 30 日 発行

定価 ￥1000

編 集 行
発 行

大 谷 大 学 佛 教 学 会
発 行 者 福 島 光 哉
京 都 市 北 区 小 山 上 総 町 22
振 替 京 都 4-25303 番

印 刷

中 村 印 刷 株 式 会 社

発 売 所

文 栄 堂 書 店
京 都 市 中 京 区 寺 町 通 三 条 上 ル
振 替 京 都 8-2948 番
電 話 (231) 4 7 1 2 番

BUDDHIST SEMINAR

CONTENTS

Empirical Perception and Transcendental Perception	NAGASAKI Hojun	1
Textual notes on the Triṃśikāvijñaptibhāṣyam based on the Comparison of Nepalese Manuscripts and a Study of Verses 1 and 2 of the Viṃśatikā	FUNAHASHI Naoya	15
Faith in the Sarvāstivāda System of Practice..... — <i>śraddhānusārin</i> and <i>śraddhādhimukta</i> —	HYODO Kazuo	31
Contemplation of Specific Marks of a Buddha in the <i>Ojoyoshu</i>	FUKUHARA Ryuzen	47
—Concerning the Influence of the <i>Kuañ fo san mei hai ching</i> —		
Research Notes		
Buddhist Scriptures Compiled in China and the <i>Tripīṭaka</i>	KIMURA Sensho	64
Book Reviews		
Masamichi ICHIGO (ed. and trans.): <i>Madhyamālaṃkāra</i> <i>of Śāntarakṣita with his own commentary or</i> <i>Vṛtti and with the subcommentary or Pañjikā</i> <i>of Kamalaśīla</i>	David JACKSON	1
★ ★ ★		
Ego Consciousness in the Yogācāra System.....	HATTORI Masaaki	79
Obituary: The Late Dr. Josho Nozawa.....	OGAWA Ichijo	92
Reports.....		93

PUBLISHED BY
THE SOCIETY OF BUDDHIST STUDIES
OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN